

離床センサー 現場レポート！

VOL. 35
Apr.2012

「離床センサーをお使いの現場から、様々な工夫をご紹介します！」

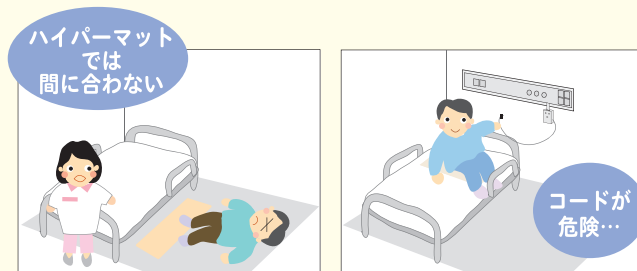
- Nシリーズ（専用受信器のコードレスタイプ）のハイパー中継ボックスをステーションに設置し、居室内完全コードレス化にてセンサー運用されている S 病院様の事例をご紹介します！

北海道・S病院様 ご使用機種：コールマット / ベッドコール N・ハイパー

課題

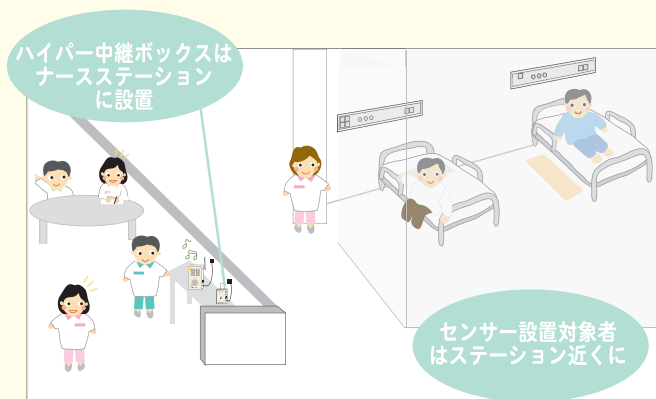
転倒リスクのある患者に対しハイパーマット・ハイパー※を導入しているが、報知が間に合わないためより早いタイミングで報知をする『ベッドコール』を使用したい。しかし、精神病院のためハイパー中継ボックスの電源コードが危険に繋がる可能性があり、使用できない。

※送信器が内蔵されたセンサーから受信器へ直接報知をするため、居室内完全コードレス化が可能。



対策

ナースステーションにハイパー中継ボックスを設置し、居室内を完全コードレス化。転倒リスクのある患者は、電波が届くステーション近くの部屋に移動してもらう。

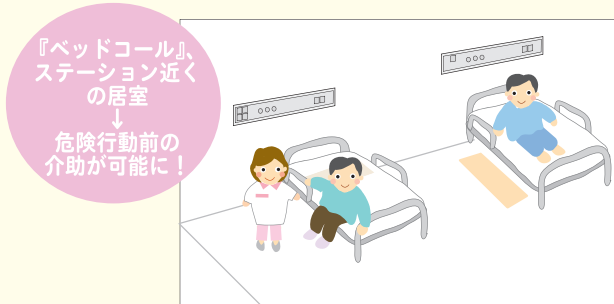


効果

早いタイミングで検知ができるようになった。また、ナースステーションから近い部屋のため対応も早くなり、危険行動の前に介助ができるようになった。従来ハイパーマットだけの対応であったが、患者の状態に合わせてセンサーを選択することができるので、今後の対策の幅が広がり、より有効な対策が取れる。

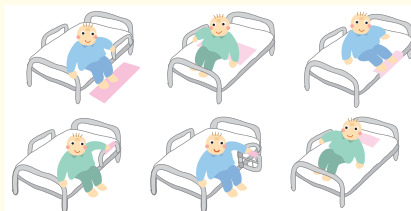
ご注意

コードレスセンサーは微弱電波を使用しており、ハイパー中継ボックスまでの電波通達距離は約 10m ですので、設置の際は通達距離に注意が必要です。



『Nシリーズ』ってどんな製品なの？

ナースコールに連動しない専用受信器タイプにコードレスセンサーが使えるようになったのが、『Nシリーズ』です。コードレスセンサーからハイパー中継ボックスを介し、専用受信器へ報知します。ナースコール連動タイプのコードレスセンサーがそのままお使い頂けます。



センサーからの信号はハイパー中継ボックスを通して受信器へ報知されます。

